



テープスロットケーブル型光ファイバケーブル加工品の 変換部細径化

Reducing the Diameter of Converting Part of Tape Slot Type Optical Fiber Cable with Connector

1. 概要

テープスロットケーブルの変換部は、防湿ダム付ケーブルとして国内大手電線各社が古くから製品化し、主にNTT管理線路との責任分界点に使用されていましたが、現在は、ウォーターブロック型のテープスロットケーブルの普及により使用されなくなっています。

富士電線(株)製の変換部は、防湿ダムをベースに防水機能無くすことで構造を簡略化し、低コストの変換部として使用してきましたが、お客様からの要望により、テープスロットケーブルから4心テープコードへの変換部を細径化する取り組みを行いました。その結果、従来品の変換部外径がφ32あったものをφ12程度とすることに成功しました。

また、変換部の細径化によって使用材料の削減にもつながり、環境負荷を低減できたことから昭和環境貢献製品に登録されました。

2. 用途

高密度で、汎用性に優れた4心～24心コネクタ付きテープスロット型光ファイバケーブル。24心細径変換後に光コネクタを取り付けています(図1)。

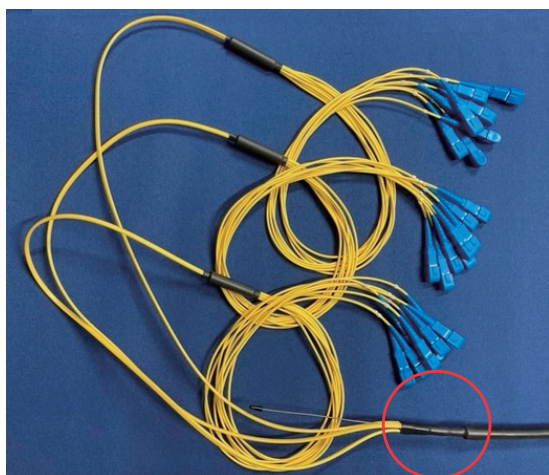


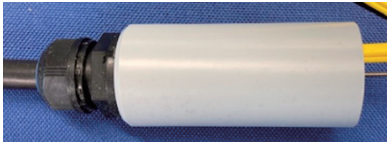

図1 24心変換部の細径化状態

3. 特長

・変換部の細径化

変換部の外径が太い場合、情報配線盤の入線口の大きさにより敷設が難しい場合がありますが、本細径変換部を使用することで、変換部外径φ32からφ12となり、従来よりも汎用度が高まります(表1)。

表1 新旧変換部比較

	外観図	外径
従来品		φ32
改良品		φ12

・ハンドリング性の向上

当社製、層型ケーブルの16心構造以上と比較するとケーブル部分も細径となるので、ハンドリング性が向上します。

・リードタイムの短縮

従来品と比較し構造、材料を見直したことで、加工品としてのリードタイム短縮を可能にしました。

・環境負荷低減

変換部に使用する材料の環境負荷の低減及び、使用量の削減を図りました。

4. 型名表示例

EM-FT4SZ-SM15W-24-WB-MTE-FR + SCSP - T10S
 ケーブル型名 / コネクタ型名 / 条長

問合せ先：〒101-0047 東京都千代田区内神田1丁目18番13号
 (内神田中央ビル2階)

富士電線(株) 営業本部 営業企画部

電話(03)5217-0911 FAX(03)5217-0920